



シルバー高島

発行(社)高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010



事業拡大を願って

理事長 金矢 健一

四季の移り変わりは実に早いもので、この広報六号が皆様の手元に届く頃は桜の花も終わって葉桜となり、皐月の農繁期も始まっていると思われます。

平素は、当シルバー人材センター事業にご理解ご協力を頂き、誠に有難うございます。早や、当センターも四年次目を迎えました。今年度においても、先般第五回通常総会で承認いただきました事業計画に沿った運営を実施することになりますが、シルバー人材センターを取巻く環境が厳しい中で大変な努力が必要となります。

国においてとりまめられた「再チャレンジ支援総合プラン」に基づいて、策定されています。事業活性化計画は、役員が一体となり、役員が一体となり、実践していかねばなりません。この計画の中で一番の課題は会員の増強に

あります。国の二〇一〇年の目標は一〇〇万人となっていますが当センターは六六〇人で一二〇人の増加です。二番目の課題は就業機会の拡大であります。その他、安全就業の徹底や広報活動の強化等々重要な課題は山積しています。何れにしても目標達成の上において最も大切なことは地域社会からも会員からも魅力あるシルバー人材センターであるとの認識をして貰うことにあると思いません。

健康で働く意欲のある高齢者が、長年培ってこられた経験と、知識と、技術を生かし人生の生きがいと喜びを感じながら就業することは会員から見た魅力です。地域社会の企業や家庭から受注した仕事を親切、丁寧、廉価をモットーにし、言動においても好感を持たれる就業を推進することは発注者から見られるシルバー人材センターの魅力となります。この様なことを醸成していくことにより会員の増加、受注の拡大、就業機会の増加に繋がってゆくものです。

自主・自立・共働・共助の基本理念を基に役員と会員が一体となつて、事業活性化計画の目標達成に努力して参りたいと存じます。この上とも会員皆様のご理解ご協力を頂き、更なる事業拡大となることを願っています。

平成20年度 事業計画

第1 基本方針

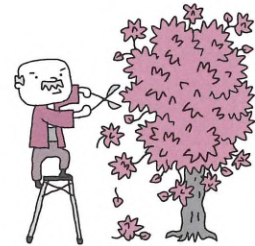
社団法人高島市シルバー人材センターが設立されてから満3年が経過しました。統合後事業は順調に推移していましたが、平成19年度になって指定管理者制度の導入など行財政改革が加速される中でシルバー事業は公共部門からの受注の制約を受け、受注は減少しており、他方センターへの補助金削減と合わせシルバー事業を取巻く環境は一層厳しさを増しています。

センターは制度発足以来高齢者等が「福祉の受け手から社会の担い手」になることを目指して「自主・自立・共働・共助」の理念の下に活動しているところでありますが、少子高齢化社会が益々進んで行き、且つ団塊世代が大量退職時代を迎えることとなって、高齢者の受入にシルバーの役割が大きくなってきています。国の再チャレンジ支援総合プランに基づき当センターにおいても事業活性化計画を樹立しプランの目標達成に平成19年度からスタートしているところであります。本年度は多様な就業機会の確保提供など魅力ある事業の展開を図り、会員獲得や各種事業の取組を強化し地域社会に貢献する事業運営を展開する事とします。

第2 実施計画

(1) 就業機会の確保および提供

- イ、事業活性化計画を推移するため専門委員会の設置
- ロ、事業開拓創出担当者の配置
- ハ、地域班・職群班の運営強化



(2) 独自事業の推進

- イ、刃物研ぎ事業…新旭町・安曇川町・今津町の三支所で刃物研ぎ事業が開設できることとなり定着している状態にあるので、本年度はPR活動に工夫し受注拡大に努めます。
- ロ、特産品販売事業…道の駅「藤樹の里あどがわ」と「しんあさひ風車村」の特殊工芸部で手芸部会員の製品が好評を得て販売が伸びているので、更に工夫をし充実した取組を行います。会員のグループ活動により、経験と技術を生かして竹細工、藁工品、木工品その他、創意工夫されたものを製作し、地域の各種催し会場を利用して展示即売が出来るように取り組みます。
- ハ、剪定枝葉チップ化事業…市から委託事業として実施していた庭木剪定枝葉チップ化事業が廃止となったため、庭木剪定業務受注で発生する枝葉の独自事業として実施します。
- ニ、その他事業…会員の創意工夫を喚起し新規事業の開拓に取り組むことにします。

(3) 安全・適正就業対策推進事業

- イ、安全・適正就業委員会の開催
- ロ、地域安全対策会議
- ハ、安全・適正就業規程の遵守指導と督励
- ニ、会員就業現場のパトロール
- ホ、安全就業啓発資料の配布と安全大会の開催

(4) 普及啓発活動

- イ、広報誌「シルバー高島」の発行（年4回）、臨時号（年1回）
- ロ、普及啓発月間（10月15日）を重点に、ボランティア活動を行い地域社会よりシルバー人材センターに対する理解と協力を得られるように努めます。
- ハ、各地区ごとに時宜に適したボランティア行動を展開します。

(5) 福祉・家事援助事業

(6) 公共団体等への事業参加

(7) 企画提案方式による事業

(8) 福利厚生活動 会員相互の融和と親睦を図る諸活動。



セーフティーたかしま 交通安全推進協議会へ加入

県下一の広大な面積を有する高島市において、市内を移動するには車の利用が不可欠であり、幼い子どもから高齢の方まで、日々の生活に車が深く関わっており、交通を取り巻く環境は憂慮すべき状況となっております。

今後は、この協議会が交通安全対策の推進母体となつて、地域・職場・家庭が一体となつた交通事故の撲滅運動に取り組み、高島市の交通安全計画の目標である「交通事故死ゼロ高島」の実現を目指していきたいと考えます。

高島市災害ボランティア活動 連絡協議会へ加盟しました

趣旨及び内容

この高島市災害ボランティア活動連絡協議会は、社会福祉法人高島市社会福祉協議会の呼びかけにより、市内の団体・個人及び行政の参加により設立されるもので、平時から災害ボランティア活動に関する共通理解を深め、災害時におけるボランティアによる被災者救援活動が被災者の自立を助け、地域の復興につながる活動となるよう、防災や減災活動を通して、必要な基盤・環境整備をすすめ、災害発生時のボランティア活動の拠

点となる災害ボランティアセンターの設置及びその運営が円滑に行われるよう支援することを目的として設置する。

活動内容

- 一、災害ボランティア活動を行う団体・個人間の連携及び連絡調整
- 二、高島市災害ボランティアセンターの設置
- 三、災害ボランティア活動に関する人材育成
- 四、災害ボランティア活動に関する情報提供
- 五、災害ボランティア活動に関する外部支援者との連携及び連絡調整
- 六、県内外における災害ボランティア活動の支援
- 七、連絡協議会のネットワークを拡大かつ強固にする活動
- 八、その他平常時に於ける防災・減災活動

加盟の必要性について

高島市内旧六町村の広範囲に会員が居住し、万一災害が発生した場合、当センター独自で会員の安否についての情報収集も困難と思われる、連絡協議会にて設置されるボランティアセンターを活用する事により、会員はもとより地域全体の情報も収集しやすくなると判断します。

また、シルバー人材センターのボランティア活動の一環と位置づけ市民全体にも存在意識を認知いただければ幸いです。

互助会便り

◆新年度互助会の計画について

話し合いました



四月三日新しい幹事で打合会を開催致しました。一年間の活動を振り返り、健康増進事業の「日帰り旅行」等、会員の評価を話し合いました。どの計画も好評で、是非続けてほしいとの声が出ていました。

更に今年度は、会員の趣味を生かした交流「囲碁・将棋」「手芸」など、サークル活動も検討してほしい、と言う会員の要望も聞いております。実現出来るよう提案していきたくて考えております。

事務所 各種連絡先 マキノと今津が統合し、北部支所となりました

- ◎本部
所在地 勝野1365番地(高島老人福祉センター内)
☎0740-36-8191
- ◎北部支所
所在地 今津町弘川204番地1(今津老人福祉センター内)
☎0740-22-9055
- ◎朽木支所
所在地 朽木市場676番地(社会福祉協議会朽木支所内)
☎0740-38-2607
- ◎安曇川支所
所在地 安曇川町田中459番地(社会福祉協議会安曇川支所内)
☎0740-32-2957
- ◎新旭支所
所在地 新旭町旭734番地2(ほおじろ荘内)
☎0740-25-8258

会員募集



シルバー人材センターでは、高齢者にふさわしい仕事を家庭・企業・公共団体から引き受けて元気に働いています。掃除、除草、草刈り、植木の手入れ、剪定、大工仕事、ペンキ塗り、すま張り、毛筆掃除などです。会員の加入を募集しています。

●●● 新入会員のお知らせ ●●●

20年4月1日までの入会者(敬称略)

氏名	支所名	地区名	氏名	支所名	地区名
岡田 光一	安曇川	青柳	古谷 良子	北部	今津(北)
岸田 金子	安曇川	広瀬・安曇	山口 健	北部	今津(北)
斉藤 弥一	安曇川	本庄	和田 博賢	北部	今津(南)
澤田 榮明	安曇川	広瀬・安曇	杉本 順子	朽木	朽木
大西 忠次	北部	マキノ(南)	宮本 衛	朽木	朽木
岡本 武	北部	今津(北)	村山 貞夫	本部	高島第一班
桂田 正勝	北部	マキノ(南)	中野 二郎	新旭	新庄・安北
清水 明	北部	マキノ(北)	八田 久良	新旭	藁園・太田
谷本ツタ子	北部	今津(南)	増田 春枝	新旭	新庄・安北

事業活動

▼訓練研修実施

新年度事業に訓練研修を計画しております。従来、SP研修事業で会員皆さんの就業に結びつく勉強の機会がありました。単位シルバーでのSP事業が限られた研修のみとなりました。

今後、竹製品・藁製品・木工製品・布製品・盆栽、等々、実施できそうな、また、販売や作業に結びつくような研修が出来れば良いと考えております。

随時、皆様には案内していく予定です。

安全適正就業委員会

▼安全について

当センターの昨年度の事故発生状況は傷害事故七件、賠償事故六件となっており、一昨年の傷害事故三件、賠償事故五件より大幅に増加しています。県内他地区のシルバー人材センターでも事故が多発し、保険制度が維持できなくなり、平成二十年度保険制度は改定されます。大きな改定内容は下記の三点です。

① 役員、会員の傷害保険の上乗せ保険の廃止（熱中症は保

② 後遺障害の最高補償額の減少（最高補償額：八五〇万円）

③ 賠償責任での免責額の制定（免責金額：千円）

賠償責任事故が発生した場合、今年度より皆さんに免責金額の千円を負担して頂くこととなります。事故防止のため草刈作業では必ず飛散防止板を使用して下さい。また、草を軽トラックで運んでもらう際、作業能率と道路上に刈草を散らさないようにする為にコンパネを用意しました。ご使用下さい。

▼安全運転講習開催

学童の送迎やお弁当の配達に加え、昨年末より福祉車両の運転依頼が多く寄せられるようになり、現在多くの会員さんが運転業務に就業しています。福祉車両を運転する場合の基本的な心得、配慮など身につけることが必要と考え、車両運転業務の就業者全員を対象に年度末に講習会を開催いたしました。

高島警察交通課・吉原係長より、最近の高齢者の事故報告を中心に事故防止の留意点について説明を受けました。また、社会福祉協議会新旭支所の前田支所長は、福祉車両の送迎運転での注意点について、ご自身の経験をおりましながら分かりやすく説明をされました。

た。

「福祉車両には高齢で体の弱っている方、車椅子の方も乗車しています。乗っている方々への理解と思いやりが大切です。運転される皆様は、日頃より身体と心の健康管理に十分に気をつけて頂き、乗車している方が安心してドライブを楽しめるようゆとりを持って安全運転されるようお願い致します。」



独自事業部会

▼剪定枝葉のチップ事業について

兼ねてよりチップ事業化を進めて参りましたが今度、新旭町藁園浜地先の湖岸道路沿いに機械が設置されました。

今後は会員のみが作業された剪定枝葉を持ち運び、枝葉チップの事業を進めたいと思っております。どしどし利用していただきたいと思います。

なお、今後の課題としてチップの肥料化も共に進め、独自事業としての活動を求めて行きたいと思っております。チップ化作業への参加を希望される方は本部または新旭支

所へのお問い合わせをお持ちしています。

所 支 だ よ り

新旭支所

古川 公子

平成十八年四月より新旭支所に勤務させていただき早や二年。当初は仕事の内容どころか会員の皆様の名前と顔を覚えるのに精一杯。受注者の方から仕事のことや質問されてもさっぱり分からず、留守番も満足に出来ない状態でした。こうした中で、会員の皆様の叱咤激励により仕事にも徐々にあります。慣れる事ができてきたように思います。

この二年間で会員の皆様のパワーと経験豊かな中から得る知恵を目の当たりにしてきました。いろいろな体験を前向きに、苦勞を楽しいに変えて生きておられる姿にはただ圧倒されるばかりでした。これからまた一年のうちで最も忙しい時期を迎えようとしています。皆様の能力を十分に発揮していただけるように、健康に配慮して頂きたいと思っております。さらに今後ますます輝く姿で地域において就業していただけたら、微力ながらお手伝いさせていただきます。私自身も成長できればと思っております。

会員の広場

シリーズ 私の健康法

ウォーキング

采野 篤雄

(75才)



用はかかりません。注意しているのは、冬は日中に夏期は涼しい時間帯、又、食後よりも食前、食間に。

靴は靴底の厚く平らなもので、水分補給に気をくばり汗ばむまで早足で歩いています。

生きがいを求めて

事務局長 川添 宏司

サラリーマンとして定年を迎えたとき、企業の人事部から「継続雇用を希望しますか」「退職されますか」と問われ、躊躇なく「退職」を選び、家庭に入り「主夫」をするぞと心に決め、六年が過ぎました。最初は家庭菜園から取り組み、炊事・家事にと今までとは違った環境に楽しさを感じました。マキノ町に居住し二十八年にな

りますが、サラリーマン当時は、始発電車で出勤し、最終電車で帰宅する毎日、近所の人との関わりがほとんどなく、自分の住んでいる地域を知り、人との関わりを大切にしたいと思ひ、歴史や、自然環境の勉強を始めました。たまたま参加した自然観察会でガイドの説明に耳を傾け、参加者の嬉しそうな表情に接し、ボランティアガイドに興味を持ち、覚えたことを忘れないために未知の世界に飛び込むことになりました。人前で話すことに抵抗を感じたことはありませんが、歴史や自然の覚えたての知識を披露するには、本心に勇気の要ることだと痛感した次第です。

六年前に当時マキノ町シルバー

人材バンクの事務局にお世話になり、会員さんの就業に対する喜びの笑顔と、ガイドで案内したときのお客様の笑顔は今も私の「生きがいの原点」となっており、現役時代より忙しくしている私を家族は呆れ顔で見守ってくれています。いつまでも「チャレンジャー」でいることが、「生きがいを求める」ことになる自信を持って取り組んでいます。

人権研修

◆県シルバー連合会より

多くの会員のおられるシルバー人材センターは、会員に対する人権への取り組み(気配り・心がけ)が必要である事を言われております。

今回、会員の方にお願ひし投稿していただきました。

思う事

一 会員

シルバー人材センターに入会させていただき満五年を迎えようとしています。入会当初は会社員時代とは違いシルバー人材センターとはこういう所なのかと私なりに納得していました。

五年間在籍させていた、たくと良い事や悪い事が色々と見えてきま

す。良い事と言え、同じ町内にいてもどこのどなた様とも知らない方とも親しくお話をさせていただいたり、男女に関係なく歩いている時や車のすれ違いざまの時にはお互い手を上げ笑顔で合図させていた、たく事がうれしく思っています。悪い事と言え、常々思っている事ですが、人の悪口や事実無根の事をよく言われる方がおられます。陰口は一方的で自分の都合の悪い事は言いません。あちこちで悪口を言いふらし、めぐりめぐって言われた人の耳に入ってきます。悪口の内容や事実無根の事でびっくりします。

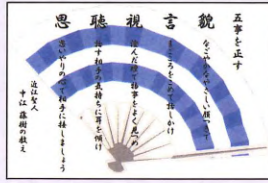
実は私も嫌な思ひをした事がありました。事務所から仕事の依頼の電話を下さるのですが、いつもなら喜んで「行かしてもらいます」と言って仕事を楽しみにしていましたが、三か月近く心の傷が癒えず仕事に意欲がなくおことわりしてしまいました。言う人は言われる者の痛みがおわかりになりますか？こんな思ひをしたのは私だけではありません。色々言われている人を耳にします。

私も含めての事ですが、悪口や事実無根の事を言うのを慎み、月一回の集会で聞きたい事や言いたい事を発言し、シルバーの会員は皆仲間です。お互い欠点をフオロ一しながら和気合々と活動しようではありませんか。

安曇川道の駅に手芸出品



作品には中江藤樹先生の教え「五事を正す」のことばを入れてPRし、お客様に喜んでいただいています。



俳句

- ・ 想ひ出の母の香りや草の餅
- ・ 京にあり都踊りの春絵巻
- ・ 春暁に目覚めて起きて又眠る
- ・ 寒月や朽ち舟湖に影落し
- ・ 山頭火忍び今宵は雪見酒

進士 良治
松田香代子

会員の作業状況 こんな事もしています



上水道の砂かき搬出

短歌

- ・ 雪の田にコハクチョウの舞い降りて
- ・ 鳴き声ひびく新年の朝
- ・ 霧深く我家が消えた散歩道
- ・ もぐら跡何を追ってかあちこちに
- ・ 雲破り山肌照らす陽の光

松田香代子
歌人シルバー

川柳

私の一品



折紙手芸 出野紀代子 (今津)

シルバーの
緑の帽子は
皆仲間



剪定のチップ作業

原稿募集!

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なんでも結構です。「広報役員・支所・本部へお届け下さい。」お待ちしております。

又、シリーズ的に会員皆さんの「私の健康法」と題して掲載させていただきます。皆さんのいろいろな健康法を教えてください。今回作品をお寄せ頂きました皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

地球の温暖化が進む中で、こうしたことが、今年の冬は寒かった。

二月の積雪日数の多さは、なんと二十四年ぶりとの事だそうです。それでも桜は入学式と花見に間に合うように満開になる。露のとも敵しい雪に耐え黄緑のつぼみで春を告げる。じゃがいもは土の中より目を覚まし、生き生きと芽を出しました。

シルバー高島も三年目、つぼみが賑らむ頃。地域の皆さんに「仕事内容」を知っていただくこと「臨時号」をつくり会員のご協力で高島地域におよそ全戸配布しました。反響はいかに…。仲間が増え、仕事が増える紙面づくりに努力してまいります。

広報部会